

常葉大サークル×奥浜名湖商工会×魚兼商店

コロッケのタネづくりに取り組む学生ら
＝浜松市浜名区三ヶ日町の魚兼商店



「うなぎいも」とクチナシの実 使用 学生らがタネづくり

このほど、同商店で学生6人と山内代表らがタネづくりに取り組んだ。山内代表は「力を入れずにふわっと触って」と助言し、学生は約35分の俵型のタネ約100個を用意した。2年の足立果穂さん(19)は「花博を訪れた人に、花だけでなくフードも楽しんでもらいたい」と意気込んだ。

コロッケはイベント広場の魚兼商店のブースで販売する。販売日には、学生が中心になって企画した「奥浜名湖クイズ」も屋外ステージで行われる。

(細江支局・大石真聖)

花博盛り上げ

特製コロッケで

浜松市浜名区の常葉大経営学部の学生でつくる「地域貢献サークルCocoa(ココア)」と奥浜名湖商工会(同)が連携し、浜松ブランドのサツマイモ「うなぎいも」とクチナシの実を使用したク

リームコロッケを開発した。同市で開催中の「浜名湖花博2024」のガーデンパーク会場で、28日と5月26日に販売する。

学生がメニューを提案し同商工会の仲介で同商店の山内章代表が試作。うなぎいものペーストとホワイトソースを1対2で混ぜ合わせる分量を決めた。花博を意識してホワイトソースにクチナシの実を入れ、黄色くする工夫も施した。